



ガバナー月信

Governor's Monthly Letter

2025-2026 年度 ガバナーメッセージ 「ロータリアンからはじめましょう」

あけましておめでとうございます。旧年中は大変お世話になりました。

国際ロータリー第 2620 地区 2025-26 年度ガバナー
稲葉 雅之 (伊東西 RC)

2026 年は午年、「丙午（ひのえうま）」。
火のエネルギーを持ち、物事が動き出す年とも言われています。

しかし現実の世界に目を向けますと、ウクライナ、中東、アジア周辺など、武力衝突や緊張が続き、東南アジアや南アジアでは大規模な水害など、自然災害により今も多くの人が不安な生活を強いられており、「平和」や「安全な暮らし」は決して当たり前ではないことを、私たちは日々突きつけられています。

その中でロータリークラブは、対話を重んじ、人と人をつなぎ、教育・人道支援・国際



理解を通じて争いの芽を小さくする努力を、地道に続けてきました。

平和とは、一気に実現するものではなく、一つ一つの行動の積み重ねだと思えます。
午年らしく、勢いに任せて走るのではなく、正しい方向を見据え、着実に前へ。
今年もロータリーらしい奉仕を、皆さまと共に積み重ねていきたいと思えます。

去る 12 月 6 日（伊東市）、7 日（伊豆市）の 2 日間地区大会が催され、国内外から多くの参加者をお迎えし、盛況のうちに終えることができました。

台湾の Wen-Li Chiu (邱文麗) RI 会長代理は、会員増強と仲間づくりの重要性について示唆に富んだお話を下さると共に、笑顔で元気に引っ張る「次世代へつなぐロータリー」リーダー像を想起させて下さいました。

今度は台湾の国際大会で是非お会いしたいですね。

地区指導者育成セミナーでは、2840 地区田中久夫パストガバナーの楽しい会員増強ノウハウ話を聞いて、目から鱗（うろこ）の方も多かったのではないのでしょうか。

(次ページへ続く)



(前ページより続き)

国際政治学者の三浦瑠麗様（山猫総合研究所）の、国際情勢に対する確実な情報分析に基づく公平で現実的な講演内容からは、世界の平和のためにロータリアンとしてできることを考えさせられました。

ご協力いただいた皆様に心より感謝申し上げます。

先日、8月に102歳をもって永眠されたロータリーの大先輩、千玄室大宗匠（京都 RC）のお別れの会に参列してまいりました。

会場には、生前のお写真が数多く展示されており、海外の要人にお茶を振る舞われる場面も数多くありました。

しかし、そこに並ぶ表情はいずれも、穏やかな笑顔というより、静かで、引き締まった、真剣な眼差しばかりでした。

笑顔で向き合い馴れあうだけで平和が訪れるのであれば、これほど簡単なことはありません。

しかし現実決して甘くはない。

戦時中の体験からくる遺憾なのか、平和を強く願うがゆえか、任された一服一服の茶の場を通して、日本という国、日本人の精神を、世界に理解してもらおうとされていたのだと感じました。

それはまさに、文化を通じた真剣勝負であり、平和のために「何をすべきか」を問い続ける姿そのものだったと思います。

平和は願うだけではなく、覚悟と戦略、そして行動の積み重ねによって築かれるもの。

大宗匠の生き様から、そのことを改めて学ぶことができた気がします。

ありがとうございました。

ところで、地区大会ベロドローム会場では、迫力の競輪アトラクションが催され、楽しい親睦に花が添えられました。充実した親睦は充実した奉仕につながります。

選手たちは努力して得た専門性をもって、『職業を通じて社会に貢献』してくれましたね。

1月は『職業奉仕月間』。それぞれの職業の意味を振り返る月にしたいものです。

本年もよろしくお願い申し上げます。

以上



12月13日藤枝市 小杉苑にて第3回地区戦略計画委員会・諮問委員会が開催されました

戦略計画委員会・諮問委員会では、2026～27年度計画を含む様々な事項について意見を交わしました。また、小泉年度からの引継ぎ事項の進捗報告、地区大会等の報告が行われ、年度の折り返し地点として有意義な時間を過ごしました。

その後、2026年1月にオーランドで行われる国際協議会に出席する若林ガバナーエレクトの壮行会が開催され、パストガバナーのお歴々から心強いアドバイスが送られました。若林エレクト！お体に気を付けて行ってらっしゃいませ！



地区大会名場面集

